JAIST Repository
https://dspace.jaist.ac.jp/

Title	持続可能な観光における地域内外の関係性モデルの提案
Author(s)	敷田，麻実；森重，昌之
Citation	日本観光研究学会全国大会学術論文集，23：491-492
Issue Date	2008-11
Type	Conference Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/16814
Rights	本著作物は日本観光研究学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Institute of Tourism Research. Copyright (C) 2008 日本観光研究学会．敷田麻実，森重昌之，第23回日本観光研究学会全国大会学術論文集，2008，pp.491-492.
Description	

JAIST
JAPAN
ADVANCED INSTITUTE OF
SCIENCE AND TECHNOLOGY

Japan Advanced Institute of Science and Technology

日本観光研究学会（2008 年 5 月 31 日、於立教大学）
2008 年度ポスターセッション発表要旨

持続可能な観光における地域内外の関係性モデルの提案

Environment-system Relationship Model for Sustainable Tourism Management

敷田　麻実*　　森重　昌之**
SHIKIDA, Asami　MORISHIGE, Masayuki

キーワード：サステイナブルツーリズム、自律的観光、地域、モデル

１．目　的

地方自治体の財政事情が逼迫し、これまで地域振興を支えてきた公共事業の規模が縮小する中で、それに代わる地域再生策として、観光振興や観光まちづくりに期待が寄せられている。また、非営利活動が社会的に認知されるようになる中で、地方自治体の役割が見直され、まちづくりでも地域住民や NPO などによる主体的な活動が求められている。

その一方で、現在の観光は持続可能な観光(サステイナブルツーリズム)であることを求められ、その実現のためには、地域外の旅行業者に送客やマーケティングを依存する今までの観光から、地域主体の自律的観光への移行が必要だといわれている [1)]。

しかし自律的観光の実現には、地域の観光がどうあるべきかではなく、観光に関わる地域内外のアクター(関係者)がどのような関係を持つかが重要である [2)]。こうした多様なアクターの存在を前提とした仕組みや相互関係のあり方は、最近「ガバナンス」と呼ばれ注目されているが [3)]、地域内外の観光にかかわるアクターによるそれは「観光地域ガバナンス」だと捉えることができる。しかし、この視点からの研究はまだほとんど行われてはいない。

この研究では、持続可能な観光を実現するための、地域主体の自律的観光地域ガバナンスを検討した。その際に、「地域外から観光客が来訪する」という観光の特性を前提とし、自前主義の「自立」ではない、「自律」を前提として持続可能な観光を実現するアプローチを考察した。そして、それを実際の観光地において適用可能な、地域内外の関係性構築のための中間システムを含む「観光の関係性モデル」として提案した。

２．自律的観光の再考

観光開発や観光客の集中は地域の自然環境や社会に悪影響を与えてきた。特に観光地となる地域ではその問題が指摘されてきた。そのため、それを緩和しようとしてエコツーリズムなどの「新しい観光」が模索されてきた。こうした動きは 1990 年代以降、持続可能な発展や産業・企業のグリーン化という社会的圧力を受け、持続可能な観光をめざすことに引き継がれてきた。持続可能性の追求は、観光分野においても重要なテーマである。

しかし大量の観光客を扱う地域外の旅行業者にマーケティングや送客を依存し、地域外から大きな影響を受けている観光地が、単独で持続可能な観光に移行することは難しい。特に地域の観光依存度が高い場合は一層である。また、そもそも観光客が地域外から来訪することで成り立つ観光では、観光地が地域外のアクターから独立することは難しい。そのため自律あるいは依存という選択肢だけではなく、地域外のアクターと地域がどのような関係を維持するかが、めざすべき自律的観光の姿であり、その結果、持続可能な観光が創出できると考えられる。

なお、ここでは先行研究 [4)]に従い、観光を出発地と観光地(観光目的地)、それに関係する旅行業者などで構成されるシステムとして捉えた。なお地域の概念は多様だが、本研究では市町村の範囲を上限とする比較的狭い範囲で考えている。

３．先行研究における地域内外の観光システムの関係

前述した地域外のアクターへの依存傾向は、マーケティングや集客、さらには経営指導にまで及んでいる。それは敷田・森重が指摘したように [5)]、地域外観光システムが地域観光システムを包含している状態である。この関係を改善するためには、地域外観光システムとの関係をマネジメントすることが必要であるとして、敷田・森重は地域内外の観光システムの関係性を表す

*北海道大学観光学高等研究センター
**北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院観光創造専攻 博士後期課程

モデルを提示した。

また、地域内外の関係については、地域で自己完結する「自立的観光」の実現は難しいので、地域外観光システムからの自立(独立)をめざすのではなく、地域外観光システムとの関係を地域側が主体的に構築し、それを維持するマネジメントが必要であると主張した。その場合、両者の関係は自立でも依存でもない、いわば「自律的な依存」となると述べている。

４．中間システムを含む関係性の構築

しかし敷田・森重によって提示された、地域を内外に二分するモデルでは、地域内外にどのような関係性が構築されているかが明確ではなかった。そのため、自律的依存という関係性の提案までしかこのモデルでは説明できず、実際の観光地域に応用しにくかった。

そこで本研究では、両者の関係を維持するためのインターフェイスである「中間システム」が存在するモデルを提案したい。

このモデルは図-1 に示すように、地域内の観光システムを、地域の自然環境や社会、文化、ある意味では観光資源となり得る地域の「資本」として示した。また地域外の観光システムは、観光客となり得る消費者や旅行業者などのアクターとしている。そして、その中間に両者を関係づける機能を持つ組織や仕組みとして「中間システム」を位置づけた。

中間システムを組み込んだ地域内外の関係は以下のように示すことができる。図-1 の左下の①に示すように、まず地域資源を価値づけ、商品化(ブランディング)して、旅行商品や素材などとして地域外に②販売(マーケティング)する。その結果、③観光客が地域を訪れ、地域内での支出につながる。場合によっては、優れた地域資源に魅力を感じた地域外のアクターが中間システムに参加したり、地域に対して投資したりすることもある。そして販売した旅行商品や投資によって、地域に経済的利益が発生するが、それは中間システムの維持のほか、その一部を地域づくりとして④地域資源へ「投資」することも起きる。その結果、地域資源の付加価値がさらに上がり、ブランド化を促進する。

ここで、中間システムは多様なタイプを想定できる。例えば最近注目されている着地型観光では、観光地域側の旅行業者やNPO、観光関係団体である。彼らが地域内の資源を旅行商品化して地域外の旅行業者などに販売したり、地域外から観光客を集客したりすることを想定すればよい。一見、地域外の観光システムの代理機能のようにも考えられるが、この中間システムを地域主体で運営・経営できれば、地域外の観光システムによる無差別な地域資源の利用が避けられる。

また中間システムは、必ずしも地域内の組織である必要はなく、地域内外の中間に位置することで役割を果たすことができる。そのため、中間システムのための組織化は必ずしもこのモデルの条件ではない。

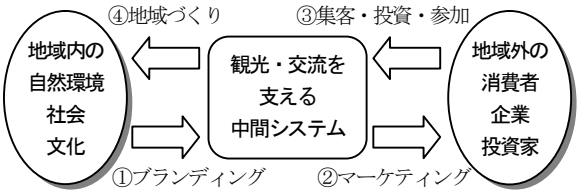

図-1　中間システムを組み込んだ観光の関係性モデル

５．観光地域ガバナンスに向けて

以上のような中間システムを含む地域内外の観光システムの「3 者モデル」は、地域による自律的観光を検討する際に利用できる。地域が自律的観光をめざすには、地域の観光の構造改革を目標にするのではなく、地域側が地域外の旅行業者などを含めた観光システムとの関係性をどのように構築するか、つまり観光地域ガバナンスの主体的構築に目標を絞ればよい。そして必要であれば、地域側が NPO や観光協会、観光関係の企業連合などの組織を中間システムとして位置づけ、地域外の観光システムとの「自律的依存関係」をどのようにして実現できるかが課題であろう。

【参考文献】

1) 石森秀三(2001)「21 世紀における自律的観光の可能性」石森秀三・真坂昭夫編『エコツーリズムの総合的研究(国立民族学博物館調査報告 23)』国立民族学博物館, pp.5-14.

2) 敷田麻実・森重昌之・高木晴光・宮本英樹（2008）『地域からのエコツーリズム―観光・交流による持続可能な地域づくり』,学芸出版社,205p.

3) 久米郁男編(2008)『生活者がつくる市場社会』東信堂, 202p.

4) Weaver, D. and Lawton, L. (2001) *Tourism Management*, John Wiley and Sons, 480p.

5) 敷田麻実・森重昌之(2007)「持続可能な観光に向けた地域外観光システムとの関係性構築とそのマネジメント」『日本観光研究学会第 22 回全国大会論文集』pp.359-360.